

16
小學修身訓

波號

卷一

2
K110.1
114
1

K110.1

114

刻 翻

明治十三年四月 卷壹

小學修身訓

文部省編輯局印行

小學修身訓凡例

一 修身學ノ書ハ宜シク生徒ヲシテ熟讀諳記セシムベシ。其意味深遠ニシテ幼年生徒ノ理會スルヲ能ハザルノ語アルモ常ニ之ヲ記憶シテ忘レザル時ハ年長スルニ隨ヒ漸ク其意味ヲ了解スルヲ得。一生之ヲ用フルモ盡スヲ能ハザル者アラシ。

一 本書ハ全編盡古語ヲ以テ組織シ。一モ編者ノ説ヲ其間ニ雜フルヲナシ。

一 小學教師タル者ハ此書ニ載スル所ノ格言ヲ以

テ本文トシ。或ハ其義ヲ敷衍シ。或ハ故事ヲ引用シテ之ヲ講解シ。以テ生徒ノ心ヲ感發開悟スルヲアラシメンヲ要ス。

一童子ヲ教フルハ。嘉言善行並ビ教フルヲ宜シトス。此書ノ如キモ初ハ善行ヲ記スルノ意アリシガ。紙數ノ増加シテ課業ニ便ナラザラソフヲ恐レテ之ヲ止メ。善行ノ如キハ一ニ之ヲ教師ノ口授ニ委托ス。

一此書ヲ授クルニハ。必シモ本文ノ順序ニ拘ハルヲ須ヒズ。或ハ修徳ヲ先ニシテ生業ヲ後ニシ。

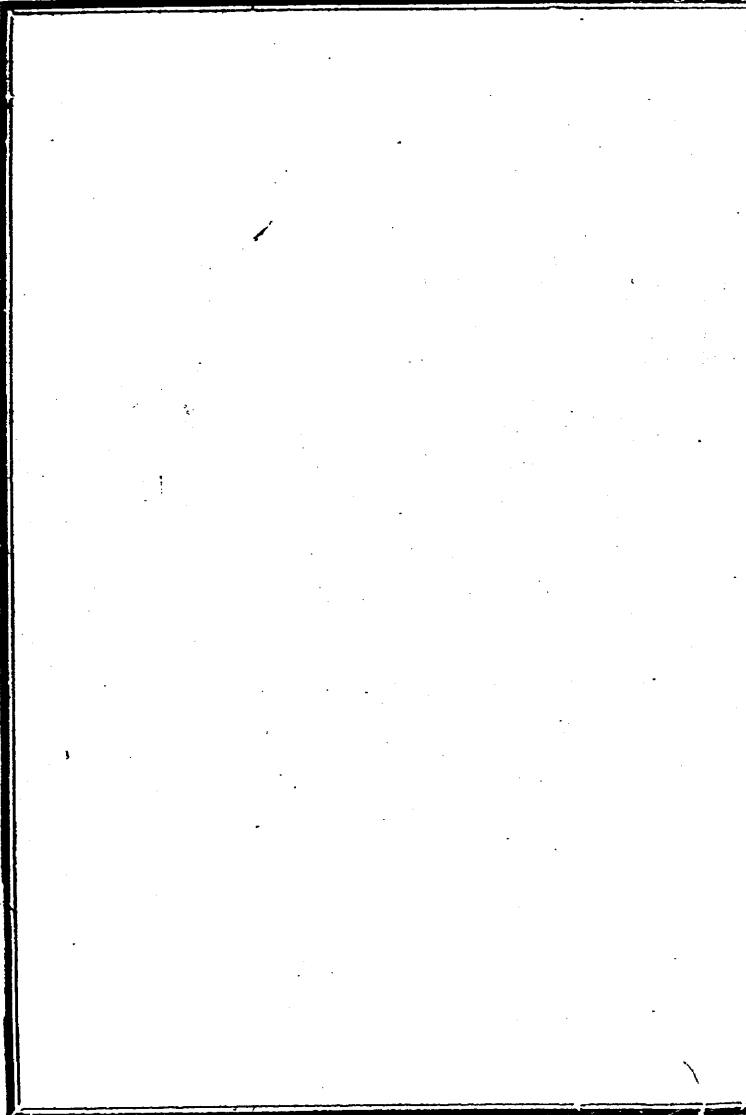
設

家倫ヲ先ニシテ處事ヲ後ニスルガ如キモ亦不可ナルヲナシ。

一編中專、女子ノミ教フルノ語アリ。此ノ如キ類ハ。男子ノ爲ニハ之ヲ略スルモ可ナリ。

明治十二年十一月

西村茂樹識



波

小學脩身訓目錄

卷上

第一 學問

第二 生業

第三 立志

第四 修德

卷下

第五 養智

第六 處事

第七 家倫

第八 交際

小學修身訓上

交際部

波

小學修身訓上

西村茂樹 選錄

第一 學問

○天ノ命ヲ性ト謂ヒ。性ニ率フヲ道ト謂ヒ。道ヲ修ムルヲ教ト謂フ。中庸

○玉琢カザレバ器ヲ成サズ。人學バザレバ道ヲ知ラズ。禮記

○嘉肴アリト雖_レ。食ハザレバ其旨キヲ知ラズ。至道アリト雖_レ。學バザレバ其善キヲ知ラズ。同上

小學修身訓上 學問

四

文部省

○吾嘗テ終日食ハズ終夜寢子ズシテ以テ思ヘドモ益ナシ。學ブニ如カザルナリ。論語

○人ノ道アルヤ。飽食暖衣逸居シテ教ナキハ禽獸ニ近シ。聖人之ヲ憂フルヲアリテ。契ヲシテ司徒ダラシメ。教ユルニ人倫ヲ以テス。父子親アリ。君臣義アリ。夫婦別アリ。長幼序アリ。朋友信アリ。孟子

○君子ノ學ハ必日ニ新ナリ。日ニ新ナルハ日ニ進ムナリ。日ニ進マザル者ハ必日ニ退ク。未進マズシテ退カザル者ハアラス。程子

○百工ノ器ヲ治ムルハ必用アルヲ貴ブ。器ニシテ

波

用ユベカラザレバ。工ハ爲サザルナリ。學ンデ用ユル所ナクンバ。學將ニ何ヲ爲サントスルヤ。同上

○數十卷ノ書ヲ讀メバ。便自高大ニシ。長者ヲ凌忽シ。同列ヲ輕慢スル者アリ。此ノ如キハ。學ヲ以テ益ヲ求メ。今反ツテ自損ス。學ブヲナキニハ如カザルナリ。顔氏家訓

○盛年重子テ來ラズ。一日再晨ナリ難シ。時ニ及ンデ當ニ勉勵スベシ。歲月ハ人ヲ待タズ。陶淵明ノ詩

○學問に有用の學あり。無用の學あり。有用の學とハ。學問をすれバ。我がため人の爲益となるといふ。

故に學問の道ハ。有用の學と爲すべし。無用の學と爲すべからず。大和俗訓

○世の人多く藝と好みて學問と好まざ。藝ハ譬へバ木の枝葉なり。學問ハ譬へば木の根本なり。根本と務めざして枝葉と務め。本と棄て、末に專なるハ僻事なり。道學なけれハ。藝多くしても根本立たず。君子とすべからず。又技藝なけれハ。事に通ぜざして其徳の助なき。野人と謂ふべし。同上

○無益ノ事ノミヲ知りテ。有益ナル事ヲ知ラザルノ人ハ。是ヲ無知ノ人ト稱スベシ。周多遜

波

○才智ノミヲ養ヒ長ズルコトハ。却テ人ノ害トナルコトナリ。故ニ凡百學問ノ根本ハ。端正ナル心志ノ田地ニ挿ミ。コレヲ修養スベシ。北士達洛日

○女子ノ教育ハ。或ハ浮華ニ流レ。或ハ驕恣ニ陷ルコトアリ。然ルキハ拙工ノ玉ヲ磨クガ如ク。其光ヲ發セズシテ。反ツテ其質ヲ損フモノナリ。亞地孫

○才ハ天ヨリ受クル者ナレドモ。是ヲ成全スルハ自修ノ功ニ賴ルコトナレバ。天才ヲ恃マズシテ。人力ヲ盡スベキコトナリ。西國立志編

○性質愚鈍ナリト雖也。恒久ノ心ヲ以テ學習ノ功ヲ

積マバ。必^ズ聰明英邁ノ人トナルベシ。穩固ナル人ハ其初^ニハ遲緩ナルガ如シト雖^モ。後遂ニ勝ヲ獲ル者ナリ同上

○讀書學問スル所以ハ知識ヲ博クシ德行ヲ修メ。仁善ノ心ヲ益シ。剛毅ノ力ヲ添ヘ。有用ノ才ヲ生ジ各自己ノ擇ヘル高尙ノ志願ヲ遂ゲ。民生ノ福祉ヲ増シ邦國ノ景象ヲ善クスルニ在リ。同上

○人ハ幼少ヨリ善キ習慣ニ長ゼシムルヲ要スベシ。蓋^{シテ}少年ノ中ニ習慣トナレルヲハ。終身永續シテ變ゼズ。譬ヘバ木ノ皮ニ文字ヲ刻ムガ如シ。其木ノ

波

長ズルニ隨ヒ。文字モ共ニ大ニナルナリ。同上

○善書ヲ讀ム者ハ。人タル者ノ職分ヲ勵マシ。不善ノ書ヲ讀ム者ハ。人ノ志氣ヲ損耗シ。人ヲ懦弱ニナシテ。是非善惡ヲ分別スルノ精神ヲ錯亂セシム。故ニ不善ノ書ヲ讀ム者ハ。自^ラ其身ヲ害フト謂フベシ。勸善

訓蒙

第二 生業

○天地の間に生るゝほどの人。貴賤貧富と論をこたなく。人々我に當りたる所作あり是我生涯につきて定まりたる道理なる故に。生理と名づく。人の

品と分ちていはゞ。農人ハ耕作と勤めて公の年貢と
かゝるを。職人ハ家藝と精くして所傳の習と失はせ。
商人ハ賣買と營みて非分の利と求めせ。都て此三の
民。共に各志と高ぶらるゑ。我に當りたる職分と
勤めバ。自ら我に當りたる衣食ありて。一生安穩に
暮すべし。其外定まりたる産業なくして。負擔日
傭などして世と渡る者あり。鄙き諺にも。天より食
物なき人と生ぜをといへバ。是等の人も忘る間なく
かせぎたにせバ。我に當りたる衣食などかなかるべ
し。六論衍義大意

故

○怠惰者流。蓋、螻蟻ヲ觀テ其智ニ法トヲサル。彼長
者ノ命ヲ俟ツヲナクシテ。夏時ニ糧ヲ備へ。穡時ニ
物ヲ斂ム。惟爾懈惰ニシテ寢ヌルヲ思へバ。何レノ
時カ寤ムルヲ得ン。瓊羅門ノ箴言

○自尊大ニスルヲ好ム者ハ飲食匱乏ス。卑キニ
居テ操作ヲ勤ムル者ニ如カズ。勤ムル者ハ人ヲ治
メ。怠ル者ハ人ニ治メラル。同上

○民勞スレバ思フ。思へバ善心生ズ。逸スレバ淫ス。
淫スレバ善ヲ忘ル。善ヲ忘ルレバ惡心生ズ。沃土ノ
民ノ材アラザルハ淫スレバナリ。瘠土ノ民ノ義ニ嚮

ハザルヲナキハ勞スレバナリ。魯敬姜

○前半生ノ勤勞ハ。後半生ノ生活ヲ安クス。西國ノ古言

○凡百ノ學問藝術。盡皆用アラザル者ナク。士農工商互ニ相資益シテ。邦國ノ利トナルヲナレバ。皆尊ビ重シズベカラザル者ナシ。此ヲ是トシ彼ヲ非トスベカラズ。我ヲ崇ビ彼ヲ卑シムベカラズ。蓋天地ノ間二人ト生レタランモノハ。必天ヨリ分配セラレタル職分アリ。而シテ其職分ヲ盡ス爲ニ。天必各其才能ヲ以テ之ニ賦與セラル、ヲナリ。故ニ何ノ事業ヲ論ゼズ。人各其職分ヲ盡スハ。卽天ニ進ム所以

故

ノ道ナリ。亞爾惱德

○凡職業ハ。心ヲ勞スルト手ヲ勞スルトヲ論ゼズ。コレヲ以テ正經ノ利ヲ得ルヲハ。眞ニ尊ブベキナリ。手指ハ汚穢ニ染ムトモ。心ノ純潔ナルニ害ナシ。物質ノ穢惡ナルハ人ヲ汚染セズ。言行ノ穢惡ナルコソ。人ヲ醜穢ニナスベケレ。西國立志編

○凡、人衰老ノ年。安樂ヲ享ンガ爲。自主自立ヲ失ハザランガ爲ニ金錢ヲ貯ヘ。及他人ヲ存恤スルガ爲ニ儉省ヲ務ムルハ。端正忠孝ノ事ナリ。モシ此ノ如キ爲ニスルニ非ズンテ。徒ニ金錢ヲ蓄積スルハ。其

心褊小ニシテ。其所行ヲ吝嗇ト名ケテ賤シムベキナリ。サレバ智者ハ固リ節儉ヲ務ムト雖也。然レ也自著意シテ。此吝嗇ヲ以テ深戒トナセリ。同上

○凡、人當然ノ道ヲ行キ。正經ノ業ヲ勉ムルヲハ。固ヨリ種類ノ別ナク。遭際ノ異ナク。盡自己ノ品行ヲ端フシ。體面ヲ存スルヲ得ベキナリ。或ハ土地ヲ耕シ。或ハ器具ヲ造リ。或ハ布匹ヲ織リ。或ハ產物ヲ賣ル。是等ノ業ヲ做ス者。皆其所行ニ由リ。自己ノ尊榮貴重ナルモノヲ全フシ得ラルベシ。同上

○貿易賣買ノ事ハ。其他ノ職務ニ比スレバ。最、人ノ

波

品行ヲ試ムル者ナリ。端正ナルト邪曲ナルト。公平ナルト自私スルト。誠實ナルト偽詐ナルトハ。是ニ由リテ明白ニ呈露セリ同上

○節約ト勞動トハ人ニ満足ヲ得セシメ又往々富饒ヲ得セシムルノ源ナリ。浪費ト遊惰トハ鉅萬ノ富ヲ有スル者ヲモ。頓ニ窮乏ニ至ラシムルノ源ナリ。勸

善訓蒙

○人其職業ヲ行ヒテ其意ヲ遂グ。畢生間ノ幸福ヲ受用セント欲スルニハ。已ノ家産。已ノ智力。已ノ性質ニ最。適シタル職業ヲ擇ブベシ。同上

○古語に。人生ハ勤に在り。勤むれハ匱乏からせといへり。勤ハ利の本なり。勤めて自ら得るハ眞の利なり。利と専、貪ほれば必、害あり。大和俗訓

○不仁にまて吝嗇なれば。財多くもちても人と救ひ恵むことなき。吝嗇ならざる人も。仁愛に心を用ひされば。其施なくまて反つて無益の事に財を費す。同上

○借の一字ハ家と破るの基なり。此一字を堅く禁せよ。財祿の多少大身小身に随つて。其分限の内にて不足なきやうに財を用ゆべき。乏きを堪へて人

故

に借るべからせ。分限の外に用ひ過ごせば。必、財足らざまて人に借る。財と借れば年々に利足と出ま。其利足に又利加はり。後に積もりてハ其負目夥まくなり。必、家産と破る。初學訓

○勉強シテ榮譽ヲ致サントスルハ高尚ノ競ナリ。若、他人ノ衰頹ニ乗ジテ。已、チ富貴ニセント欲スルハ覬覦心ナリ。其社會ヲ毒スルハ。懶惰ニ勝ルコト一等ナリ。麻、順

○富ト自立トハ。必、シモ鉅萬ノ財貨ヲ有スルノ謂ニ非ズ。人々各其分ニ隨ヒ。完足スベキ資産ヲ有ス

ルニ在リ。少年輩能ク其身ニ節儉ノ慣習ヲ爲シ得ルキハ。生理ヲ闕キ。人ヲ依頼スルノ卑屈心ヲ生スルヲナク。又産業ヲ倒シ。心思ヲ損ジ。志望ヲ空フスルニ至ルノ憂ナカルベシ。殷斯斐ノ脩身學

○人ハ忠實正經ナル生活ヲ爲スヲ要ス。是ヲ倣ガンニハ。自治ムルノ勇アリ。自其私欲ニ克ツノ徳アルベシ。然ルキハ衣服飲食家室等ニ就テ。其願欲其節儉。自其宜キヲ得ルニ近カルベシ。然ラザレバ其生ヲ治ムルノ情狀ハ。已ガ私欲ニ徇ヒ。之ガ奴隸トナルヲ免カレズシテ。自忠實ナラズ正經ナラザル

波

活計ヲ爲スニ至ルベシ。西洋品行論

○君子ハ財貨ヲ善用セシガ爲ニ之ヲ珍重スト雖也。本源ノ清潔ナルニ非ザレバ。之ヲ受ケザルナリ。脩身鑑

○富貴の家に住ス、人ハ。曾て艱難と經ズ。常に多くの所從にかまづかれ。美服身にまとい。厚味口にあき。いつまでも替るまゝとこそ思ふらめど。一旦時移り勢去ぬれば。過ぎにま富貴ハ一宵の夢となりぬ。是まで飽暖にくらゑて。何の材藝もなく。世話にま疎ければ。漸々に落ぶれて。庶民に下るも。昔より其例なきにあらず。六諭衍義大意

○又身もと輕き人の遊樂と好むこそ一まほうたて
けれ。或ハ游女に戯ぶれ。或ハ博奕と好む。酒にひた
り。色に溺れ。晝夜家業を棄て、浮かれ遊ぶほどに。
果ハ家財も盡きて。朝夕の營もすべきやうなけ
れば。思の外に惡事と巧み出まて。災難に逢ふもあ
らざるぞかま。同上

○常ニ勞作シテ已マズ。職業ノ繁多ナルヲ嫌ハズ。
世上ノ務ニ任ジ。他人ト交通シ。實事ニ砥礪スルハ。
人生ノ主義ナリ。人苟。此主義ニ本ツキ。事務ヲ勉ム
レバ。剛猛ノ性質ヲ成シ。極美ナル熟果ヲ結ブヲ

波

得ベシ。品行論

○利ハ天地より生れて。天下の人に與へ養ひ給ふ
利なれば。天下の公物なり。われ一人の私ものにす
べからず。人と共に同く利を得れば。人々各其所を
得て害なま。身に私して我一人利を得んとすれば。
争出來て反つて我身の害となる。義を行ひて自ら
來る利ハ。眞の利なり。我益となる。貪り求むるハ眞
の利にあらず。必を身の禍となる。是利を求むる
にハあらず。害を求むるなり。大和俗訓

第三 立志

○志立タザレバ。天下成ルベキノ事ナシ。百工技藝ト雖_凡。未_レ志ニ本ツカザル者アラズ。志立タザレバ。舵ナキノ舟。銜ナキノ馬ノ如シ。漂蕩奔逸。何ノ底ル所アラシヤ。王陽明

○陽氣ノ發スル所ハ金石モ亦透ル。精神ニタビ到ラバ。何事カ成ラザラン。朱子

○譬ヘバ山ヲ爲ルガ如シ。未_レ成ラザル一簣ニシテ。止ムハ吾、止ムナリ。譬ヘバ地ヲ平カニスルガ如シ。一簣ヲ覆フト雖_凡。進ムハ吾、往クナリ。論語

波

○仁者ハ憂ヘズ。智者ハ惑ハズ。勇者ハ懼レズ。同上
○大人ト小人トノ別ハ。特ニ剛毅ト剛毅ナラザルトノ別ノミ。人一タビ志ヲ定メバ。其後或ハ死スベシ或ハ成就スベシ。決シテ中廢スベカラズ。勃古斯教
○世人富トカトノ二者ヲ能ク理會スル者少シ故ニ富ヲ以テカヨリ重キモノト思ヘリ。其實ハ然ラズ。自己ノ力ニ依頼シ。自、儉節ヲ守ル。此二者實二人ヲシテ自己ノ井水ヲ飲ミ。自己ノ麪包ヲ喫セシメ。人ヲシテ職事ヲ學習シ。及其當、ニ爲スベキ善事ヲ行ヒ遂ゲシムルナリ。勞爾德、倍根

○若大石ノ道路ニ横ハルヲアレバ。懦者ハ之ヲ視テ行路ノ障碍ト爲シ。勇者ハ之ヲ視テ進歩ノ登級ト爲ス。加來爾

○困難愈甚シケレバ。愈多ク勞苦ヲ爲スベク。危險愈甚シケレバ。愈多ク勇氣ヲ顯ハスベシ。那比爾

○天ノ將ニ大任ヲ是人ニ降サントスルヤ。必先其心志ヲ苦シメ。其筋骨ヲ勞シ。其體膚ヲ餓ヤシ。其身ヲ空乏ニシ。行其爲ス所ニ拂亂スルハ。心ヲ動カシ性ヲ忍ビ。其能クセザル所ヲ曾益スル所以ナリ。人恒ニ過ツテ後ニ能ク改メ。心ニ困シミ。慮ニ衡ハ

波

リテ後ニ作り。色ニ徵シ聲ニ發シテ後ニ喩ル。孟子

○學ヲ好ムハ知ニ近シ。カメ行フハ仁ニ近シ。恥ヲ知ルハ勇ニ近シ。中庸

○人一タビシテ之ヲ能クスレバ。已之ヲ百タビス。人十タビシテ之ヲ能クスレバ。已之ヲ千タビス。果シテ此道ヲ能クスレバ。愚ト雖_凡必明カニ。柔ト雖_凡必強シ。同上

○晋ノ陶侃常ニ人ニ語ツテ曰ク。大禹ハ聖人ナルニ乃寸陰ヲ惜ム。衆人ニ至ツテハ。當ニ分陰ヲ惜ムベシ。豈逸遊荒醉スベケン。生キテ時ニ益ナク。死シテ

後ニ聞ユルヲナキハ。是レ自棄ツルナリ。

○英國ノ掃謝十九歳ノ時。此語ヲ書シテ曰ク。嗚呼十九年ナル哉。吾生ノ四分ノ一ハ切ニ過ギタリ。余未社會上ニ於テ能ク役ヲ爲スヲアル能ハズ。野人一日二錢ニシテ。烏鳥ヲ恐嚇スルモ。我ニ比スレバ有用ナル人ナリ。彼ノ貯フル麪包ヲ我ハ懶惰ニシテ座食セリ。

○矢敗ノ事ハ。眞正ノ勉強スル人ノ爲ニハ極善ノ教訓ト爲ル。立志編

○安逸驕侈ニ生長スル人ハ艱難ノ事ト爭賽スルヲ

波

能ハズ。人生ニ缺クベカラザル奮勉剛猛ノ力ヲ出スヲ能ハズ。故ニ貧苦ニ逢ハザルハ人ノ不幸ナリ。蓋安佚ト才徳トハ兩立セザル者ナリ。人往々己ノ才徳ヲ貶シテ安佚ヲ買フ者アリ。然レ正直誠實ナル人ハ。安佚驕侈ト戰ヒテ自己ノ勢力ヲ生シ。自己ニ信仗シテ遂ニ凱勝ヲ奏スルヲナリ。同上

○窮困ハ創造ノ母ナリ。故ニ古ヨリ順便ノ地位ニ居ル人ヨリハ。窮困ノ人却テ能ク大事ヲ成就スルナリ。同上

○凡人事業ヲ成就スルニハ。剛毅ナル心志ノ力ヲ

以テ基礎ト爲ス。剛毅ノ心ハ穎敏ノ才ニ比スレバ。其人ヲ成就スルコト多分ニ居ル。同上

○人各自志ヲ立テ、是非ヲ擇ビ、趨向ヲ定ムベシ。彼川上ニ漾フ藁ノ方向。偏ニ波ニ任スガ如クナルベカラズ。必水ニ洄ク者ノ。自己ノ力ヲ出シテ善ク波浪ヲ拍キ。吾意ノ向フ所ニ進ミ行クガ如クナルベシ。同上

○少年ノ人世途ヲ行クニ、誘惑ノ者、兩旁ニ並ビ列チ成シテ立テリ。其中ヲ通行スルコトナレバ。惡ニ誘カレザルヤウニ常ニ心ヲ注グベキナリ。一タビ之

波

ニ從フ時ハ、遂ニ必下流ニ淪没スベシ。故ニ誘惑ノ事其前ニ至ラバ、商量ヲ待タズ。顧慮ヲ費サズ。一刀兩斷、否ト云ヘル一字ヲ以テ之ニ答フベシ。同上

○朱子滄洲ノ精舍ニテ學者ヲ論シテ曰ク、書記セザレバ、熟讀スレバ記スベシ。義精カラザレバ、細思スレバ精シカルベシ。惟志ノ立タザルアルハ眞ニ是力ヲ著クル處ナシ。只而今利祿ヲ貪リテ道義ヲ貪ラス、貴人トナランコトヲ要シテ、好人トナランコトヲ要セザルガ如キハ、皆是志立タザルノ病ナリ。直ニ反復思量シ、病痛ノ起ル處ヲ究見シ、勇猛奮躍、復

此等ノ人トナラザルベシ。

○凡、人となりて。君の爲親の爲助にもならず。世間の用と爲さざりて。天地の道に少々の補なく人を憐む徳もなく。人と救ふ功もなく。天地の物を損ひ費す。禽獸草木の民用と助くるにも如かず。と古人いへり。我輩の世に在ること此の如き。自恥づべし。天道畏ふべし。初學訓

○人苟、堅定ノ志意アリ。高尚ナル想願アリテ職分ノ道途ニ入り。勇毅ナル行爲ヲ顯サバ。其品行ハ極高ナル峯頂ニ達スルニ庶幾カルベシ。品行論

波

○富ト貴トハ是人ノ欲スル所ナリ。其道ヲ以テセズシテ之ヲ得レバ處ラザルナリ。貧ト賤トハ是人ノ惡ム所ナリ。其道ヲ以テセズシテ之ヲ得レバ去ラザルナリ。論語

○志士仁人ハ。生ヲ求メテ以テ仁ヲ害スルコトナク。身ヲ殺シテ以テ仁ヲ成スコトアリ。同上

○道近シト雖。行カザレバ至ラズ。事小ナリト雖。爲サザレバ成ラズ。韓詩外傳

○古ヨリ今ニ至ルマデ。非常ノ功績ヲ成スノ人ヲ觀ルニ。其天賦ノ才能。或ハ中等ニ過ギザレドモ。盡

心思氣力ノ強毅ナル人ニ非ルハナシ。又此世界ヲ動カシ。最勢力アリシ人ハ。英才ノ人ニ非ズ。深信確證スル所アツテ其事業ニ從事シ。器量宏遠。志向堅定ニシテ。又阻遏スベガラザルノ氣力アル人ナリ。

品行論

○婦人ハ思慮ナクシテ獨リ賤工ニ役スルモノニ非ズ。又特ニ男子ノ逸樂ニ供スル美貌ノ飾物ニ非ズ。蓋婦人モ男子ト同シク特別一個ニ成リ立タル者ナリ。同上

○婦人ハ一生ノ間其莊敬ナル職任ヲ盡サシニハ。

波

才智ヲ養ヒ成セル頭腦ト。他人ヲ愛憐恕察スル心腸トヲ要ス。婦人ノ此世ニ差遣セラレ、極高ノ任ハ。當世ニ流行スルガ如キ空ク光陰ヲ費シ。末節ナル技藝ヲ學ビ成スコトニ非ズ。同上

○婦人ハ絶大ノ著書ヲ筆セス。算法ヲ創造セス千里鏡ヲ發明セス。蒸氣機關ヲ製出セス。然レモ此等ヨリ更ニ大ニシテ善ナル者ヲ成就シタリ蓋卓行善徳アル男子女子ヲ。其膝下ニ於テ薰陶養成スルコト。豈器械創造ヨリ大ナラズヤ。是豈世界上最上絶好ナル産物ニアラズヤ。約瑟麥斯多勃

第四 修德

○天子ヨリ庶人ニ至ルマテ。壹是ニ皆身ヲ修ムルヲ以テ本ト爲ス。大學

○君子ハ本ヲ務ム。本立テ道生ス。孝弟ハ其レ仁ヲ爲スノ本與。論語

○子張行ハル、トヲ問フ。孔子曰ク。言忠信行篤敬ナル^ル。巒^ノ邦ト雖^レ行ハレ^ン。言忠信ナラズ行篤敬ナラザ^ル。州里ト雖^レ行ハレ^ンヤ。同上

○子貢問フテ曰ク。一言ニシテ終身之ヲ行フヘキ者アリヤ。孔子曰ク。其恕ナルカ。已ガ欲セザル所

被

ハ人ニ施ス^ト勿カレ。同上

○君子ハ義以テ質ト爲シ。禮以テ之ヲ行ヒ。孫以テ之ヲ出シ。信以テ之ヲ成ス。君子ナルカナ。同上

○君子ハ諸ヲ已ニ求メ。小人ハ諸ヲ人ニ求ム。同上

○君子ニ三戒アリ。少キ時ハ血氣未定マラズ。之ヲ戒ムルハ色ニ在リ。其壯ナルニ及ンデヤ。血氣方ニ剛シ。之ヲ戒ムルハ鬪ニ在リ。其老ユルニ及ンデヤ。血氣方ニ衰フ。之ヲ戒ムルハ得ニ在リ。同上

○矜憫恒ニ懷ヒ。眞實無妄。此道離ル、^ト勿カレ。爾ガ頸ニ懸ケ。爾ガ心ニ銘スル^ル。上帝ト人ト爾ヲ

愛セザルコトナク。爾ニ恩寵ヲ賜ハン。瓊羅門箴言

○道ヲ履ムコト坦々ナレバ顛趾ヲ致サズ。高臥安寢シテ畏懼スル所ナシ。同上

○口ニ惡ヲ言フコト勿カレ。目ニ邪視スルコト勿カレ。爾ノ行爲ヲ慎ミ。爾ノ趨向ヲ端クシ。左ニ偏スルコト勿カレ。右ニ偏スルコト勿カレ。惡ヲ見レバ卽之ニ遠ザカレ。同上

○謙者ハ智ヲ得。驕者ハ辱ヲ受ク。禍ヲ降スノ日。貨財亦復何シノ裨アラシ。死ニ臨ムノ時。仁義以テ自救フニ足レリ。愚者ハ人ノ短ヲ暴ハシ。智者ハ人ノ

彼

惡ヲ隱ス。人ヲ益スル者ハ。正ニ以テ已レテ益シ。人ヲ損スル者ハ。適ニ以テ已レテ損ス。財ヲ散ジテ富厚ヲ増スコトアリ。財ヲ惜ミテ貧乏ヲ致スコトアリ。同上

○仁者ハ射ルガ如シ。射ル者ハ已レテ正フシテ後ニ發ツ。發ツテ中ラザレバ。已レニ勝ツ者ヲ怨ミズ。諸ヲ已レニ反求スルノミ。孟子

○惻隱ノ心ハ人皆コレアリ。羞惡ノ心ハ人皆コレ有リ。恭敬ノ心ハ人皆コレ有リ。是非ノ心ハ人皆コレ有リ。惻隱ノ心ハ仁ナリ。羞惡ノ心ハ義ナリ。恭敬ノ心ハ禮ナリ。是非ノ心ハ智ナリ。同上

○後漢ノ楊震ガ舉グル所ノ荊州ノ茂才王密。昌邑ノ令ト爲リ。謁見スル時。金十斤ヲ懷ニシ。以テ震ニ遺ル。震ガ曰ク。故人君ヲ知ルニ。君故人ヲ知ラザルハ何ヅヤ。密ガ曰ク。莫夜知ル者ナシ。震ガ曰ク。天知ル神知ル。我知ル子知ル。何ヅ知ル者ナシト謂フヤ。密愧ゲテ去ル。

○漢ノ昭烈將ニ終ラントスル時。後主ニ敕シテ曰ク之ヲ勉メヨ。之ヲ勉メヨ。惡ノ小ナルヲ以テ之ヲ爲ス。勿カレ。善ノ小ナルヲ以テ爲サザル。勿カレ。

波

○行爲ノ粗野ナルト。虚飾ニシテ實ナキトヲ比較スル。片ハ。虚偽ナランヨリハ。寧。天然素朴ノ眞ニ如カズ。縱令温雅ノ風ナシト雖。尙。人ノ之ヲ恕スルコトアルベシ。已ガ行爲ヲ虚飾スルハ。宛モ燭火ヲ舉ゲテ。已ガ短所ヲ照ラスガ如クニシテ。人必我ヲ目シテ。或ハ無知ト爲スカ。將。不誠ト爲スニ過ギザルベシ。駱克

○戰爭シテ敵ニ勝ツハ小捷ナリ。已ガ私欲情欲ヲ制シテ之ニ勝ツハ大捷ナリ。托馬伯羅温
○君子ハ人生毎日ノ小事ニ於テモ。已レテ棄テ、人

ニ譲リ。已レテ損シテ人ヲ利スルナリ。勞爾德トク查丹

○凡人ノ人タル所以ノ者ハ禮義ナリ。禮義ノ始メハ。容體ヲ正フシ。顔色ヲ齊ヘ辭令ヲ順ニスルニ在リ。禮記

○財ニ臨ンデハ苟得ルヲ母カレ。難ニ臨ンデハ苟免ル、ト母カレ。狼ニ勝ヲ求ムルヲ母カレ分ツニ多キヲ求ムルヲ母カレ。同上

○忠信ヲ主トシ已ニ如カザル者ヲ友トスルヲ無カレ。過ツテハ改ムルニ憚ルヲ勿カレ。論語

○病ハ口ヨリ入り。禍ハ口ヨリ出ツ。故ニ君子ハ言

披

語ヲ慎ンデ飲食ヲ節ニス。要覽

○宋ノ范純仁。子弟ヲ戒メテ曰ク。人至愚ナリト雖モ。人ヲ責ムルハ明カニ。聰明アリト雖モ。已レテ恕スルハ昏シ。爾ガ曹。但常ニ人ヲ責ムルノ心ヲ以テ已レテ責メ。已レテ恕スルノ心ヲ以テ人ヲ恕セバ。賢聖ノ地位ニ到ラザルヲ患ヘザルナリ。

○謹慎ハ吾等ノ言行ニ位格ヲ與ヘ。其言行ヲ發スルニ。常ニ適當ノ時機ヲ得セシメ。若猝然ノ事起ル時ハ。吾等ニ指南鍼ヲ授クル者ナリ。西國ノ古言

○驕泰ナル者ハ敗亡之ニ繼ギ。謙遜ナル者ハ尊榮

之ニ被ムル。言フ所ハ必果ヲ結ビ。口ニ出ヅル者ハ必身ニ反ル。箴言

○一粥一飯。當ニ來處ノ易カラザルヲ思フベシ。半絲半縷恒ニ物力ノ維艱キヲ念ヘ。朱子

○善ニシテ人ノ見シテ欲スルハ。是眞ノ善ナラズ。惡ニシテ人ノ知ラシテ恐ルハ。便是大惡ナリ。同上

○須。是慈祥和好ヲ本ト爲スベシ。勇決剛果ノ如キハ。無カルベカラズト雖也。然レ也之ヲ用ユルニ處所アリ。同上

被

○初ニ犯ス所ノ過失ハ至テ小ナレドモ。是ヲ掩ハント欲シテ行フ所ノ惡事ハ。反ツテ大ナリ。路塞。夫高

○怠惰ハ勉強ノ敵ナリ。浪費ハ節儉ノ敵ナリ。放逸ハ修養ノ敵ナリ。弗勸明ノ脩身學

○勞動スル人ハ。粗製ノ麪包モ其味甚美ニシテ。怠惰驕奢ナル人ハ。珍貴ノ盛饌モ甚口ニ甘カラズ。是造物者ノ勞動ヲ賞シテ。驕奢ヲ罰スルノ明證ナリ。同上

○人ノ德行ハ。天道ヲ敬畏スルノ心ト。人類ヲ愛重スルノ心ト。聚マリテ成レル者ナルニ。此德行ヲ修

ムルノ目的ナクシテ。特ニ才能ヲ重ンズルヲ。習フテ風俗ヲ成ス時ハ。人心ノ壞敗。世道ノ衰退。是ヨリ甚シキハナシ。立志編

○自、恭敬スルヲハ。人ノ著クル最貴ノ衣服ナリ。其心思ヲ感移シテ高尚ナラシムルモノナリ。自、敬スルノ意義ハ。極メテ高尚ナルモノニテ。飲食男女ノ欲ヲ以テ。其身ヲ汚穢セズ。諂媚ヲ行ヒ勢利ヲ慕フガ如キ邪念ヲ以テ。其身ヲ玷辱セザルヲ言フナリ。同上

○常に心の内を顧みて。一點の私欲邪念あらば早

戒

く去るべき。私欲とハ。名聞と好み。利分と好み。色と好み。貨と好むの類。并びに耳目口體の好む所の身に私する慾といふ。邪念とハ。人と虐たげ。人と怒り争ひ。我身に誇り。人と侮り。人と猜し。諷り。人に諂らひ。人を欺き偽るの類といふ。是皆邪惡の心なり。若し是等の事露ばかりもあらば。速に去るべき。又氣質の偏あらば勝つべき。氣質の偏とハ。生れ付きに片落たる所あるといふ。氣の荒きと躁がまきと。又柔らか過ぎて弱きと。或ハ早過ぎたると。鈍く緩すぎたるとの類。或ハ生れ付きて怒多く慾多きの類と

いふ。是皆氣質の偏なり。大和俗訓

○一言妄に發すれば駟馬も追難き。善きことも悪きことも。皆口より出づ。慎めば過少なく恥辱なく禍なき。故に人の身の慎。ハ口と慎むと第一の務とす。言多ければ口の過多く。人に惡まれ禍起る。慎みて多く言ふべからず。殊に人を譏るハ莫大の惡事なり。戒めて人の非といふべからず。同上

○人の目ハ百里の遠きを見れども其睫と見ぞ。明鏡といへども其裏と照さず。こゝを以て人智ありといへども。我身の誤と知り難き。故に君子の學ハ

波

専我身と顧み。人の諫とき、用ひ。過と知りて改むと旨とす。同上

○陰徳とハ。善を行ひて人に知られんことを求めず。只心の内に竊に仁愛を保ち行ふといふ。凡人の患と憂ひ。人の歡と喜び。人を憐み恵むに。鰥寡孤獨の便なき人と先に。人の飢たると救ひ。凍たると人に衣と與へ。勞れたると助け。病者を救ひ。道橋と修理す。人に害あると除き。人に利益ある事となす。人の中と和らげ。人の善あると譽め。人の過と隠す。人の小過と宥す。人の才藝を用ひ薦め。妄に人に怒

らば。人と怨む。人の怒争ひを止め假にも人と譏らば。人と侮らば。人と奪はば。人と妨げば。人の善を勸め惡を諫め。禽獸蟲魚と苦みめば。妄に殺さば。草木と妄に切らざらば。皆是陰徳なり。凡、陰徳ハ人知らざれども。天道に協ふ故に後にハ必、我身の幸となり。子孫の繁榮を得るの道理なり。同上

○凡、人タル者。我身ヲ以テ情ト欲トニ打任セテ之ヲ制抑スルヲナキハ。遂ニハ身體ノ健康ヲ傷リ。精神ノ活動ヲ妨グ。品格ト勢威トヲ卑クシ。性命ヲ短縮スルノ凶害ニ罹ル者ナリ。此ノ如キ結果ヲ得

故

ルニ至ルハ其道遠クシテ。其進行モ至テ徐緩ナレドモ。其應報ハ確然トシテ誤ルヲナキ者ナリ。

哈芬ノ脩身學

○大酒ヲ好ム人ハ。常ニ左ノ結果ヲ得。其一ハ或ハ暴怒ヲ發シ。或ハ放蕩ニ陥リ。以テ自己ノ良心ヲ損ズ。其二ハ或ハ一時ノ酩酊ニ由リ。或ハ永久ノ昏迷ニ由リ。其身ニ應ゼル職分ヲ務ムルヲ能ハザラシム。其三ハ無益ノ財ヲ費シテ。家計ノ窮迫ヲ招ク。其四ハ一家ノ平安ヲ害ス。其五ハ己ガ性命ヲ短縮ス。是ナリ。被利 脩身學

○男女ノ欲ハ。人類ニ闕キ難キ者ナリ。然レモ若ク之ニ蕩溺スルキハ。其衣服容貌ハ美ナルガ如シト雖モ。其人物ノ汚穢ナルヲハ。泥ヲ負フノ豚ノ如シ。此ノ如キ人ハ。情欲ニ誘惑セラレテ高崇ノ志望ヲ失ヒ。其身ヲ以テ卑劣ノ坎ニ沉ムル者ナリ。古賢ノ語ニ曰ク。肉體ノ欲ハ吾身體ヲ害スルノミナラズ。吾良心ヲ亡ボサントスルノ讐敵ナリ。福均ノ修身學

○貪婪ト云ヘル人欲ハ。其力巨大ニシテ。此欲ノ盛ンニ發スルキハ。其他ノ感覺ハ少シモ心ニ生スルヲナシ。縱令少シク生スルヲアルモ。遂ニ貪欲ノ爲

波

ニ打消サレテ。發暢スルヲ能ハズ。故ニ貪欲ノ人ハ。其性命モ其感覺モ。惟金錢ノ上ニノミアリテ。其他ニ及ブヲナク。遂ニ其性命ト榮譽トヲ併セテ。金錢ニ徇スルニ至ル者ナリ。希毅ノ修身學

○我身朝夕飲食の俸養ハ輕く志て。身とバ勞動すべし。奢りて酒食の美と好み。懈りて身と安逸にすべからん。奢らざるを志す。此の如くすれば第一徳と養ひ。次に身と養ひ。次に財と養ふ。三の益あり。家

道訓

○衣服ハ儉素に飾少なく。よの常に志て賤から

どもがよま。又貧乏き人も。務めて潔く。垢つき穢れ
ざると用ゆへま。富める人も。美麗と好み無用の服
多くすべからま。又甚質朴に過ぎて。穢らばま。鄙
野なるもあま。大和俗訓

○身體ヲ清潔ニナスハ。健康ヲ保ツノ一基本ナリ。
故ニ之ヲ自己ニ對スル務ノ一トス。飲食ヲ節スル
ハ。物欲ヲ制スル徳ノ一ナリ。若之ヲ節スルコトナク
貪飽スルキハ。其健康ヲ害シ。疾病ヲ醸シ。身體ノ機
關ヲ損スルニ至ルベシ。是天ニ背クノ一不徳ナリ。

勸善訓蒙

○人其身體ヲ壯健ナラシメントシテ。却テ意ヲ用ユ
ルニ過ギ。終ニ其體ヲ柔弱ナラシムベカラズ。故ニ
常ニ身體ヲ運動使用シテ之ヲ強健ニナシ疲勞困苦
ニ堪ヘシムベシ。同上

○傲慢ナル人アリ。自謂フ余ハ他人ヨリモ才能知
識アリテ。他人ハ余ヨリモ愚昧ナリト。汝ハ實ニ傲
慢ナル人ノ情態ヲ知ルカ。是氣毬ノ膨脹シテ昇騰
セルニ等シク。只其外貌ヲ誇大ニシテ内部ハ實ニ
空虚ナリ。余ハ之ニ反シテ謙遜辭讓ナル人ヲ愛ス。
此人ハ自卑下シテ他人ヲ賛揚シ。敢テ己ガ事ヲ稱

道セズ。其身ヲ戒慎恐懼シテ敢テ人ニ先ダハズ。其言誠實ニシテ虚飾ナシ。今汝ニ説カン。謙遜ナル人ハ。其行事此ノ如ク卑下スト雖也。傲慢ナル人ノ已ノミ有スルト思ヘル才能知識ハ。翻ツテ此謙遜ナル人ニ存セリ。勸善雜話

○言行ノ信實。行為ノ信實ハ。人ノ品行ニ於テ身體ノ脊骨アルガ如ク。是ナケレバ立ツコ能ハズ。立志編
○人ノ斯世ニ在ル。真正ノ權勢ト稱スベキ者ハ品行ナリ品行ハ爵位ヲ假ラズシテ自爵位ヲ具ヘ。財貨ヲ擁セズシテ別ニ産業ヲ有セリ。如何ナル地位

波

ニ居ルトモ。其地位ヲシテ榮光アラシメ。如何ナル會社ニ入ルトモ。其會社ヲシテ崇高ナラシメ。其大勢力アルコト。貨財ノ及ブベキ所ニ非ズ。他人ヨリ尊敬セラレテ。之ヲ妬忌スル者ナク言語ナクシテ他人ヲ感化スルコト。常ニ言語スル者ニ勝レリ。同上
○凡、人幼年ノ時ハ。常ニ戒メテ生物ヲ殘害苦痛セシムベカラズ。是、他年人類ヲ愛憐スル仁心ヲ養フガ爲、ナリ。茶伯尼子
○人安ニ樹木穀草等ヲ毀損シ。又蒸餅果實及ビ其他有益ノ物ヲ徒ニ棄ルハ。是、天ノ賜ヲ無益ニ亡滅

スルノ罪アリ。モシ是等ノ物ヲ窮餒ノ者ニ與フレバ。恩惠ノ一端ナルベシ。勸善訓蒙

○凡女子タル者ハ。先身ヲ立ツルヲ學ブ。身ヲ立ツルノ法ハ惟清貞ヲ務ム。清ナレバ則身潔ク。貞ナレバ則身榮フ。宋若昭ノ女論語

○私語ヲ談セズ淫音ヲ聽カズ。黄昏來往スルニハ燭ヲ秉リ燈ヲ掌ル。暗中ニ出入スルハ女ノ經ニ非ズ。一行失フアレバ百行成ルヲナシ。同上

○家ヲ營ムノ女ハ。惟儉惟勤。勤ムルキハ家起リ。懶ナルキハ家傾ク。儉ナルキハ家富ミ。奢ルキハ家貧

波

シ。同上

○幽間貞靜。節ヲ守リテ整齊。已チ行フニ恥アリ。動靜法アリ。是チ婦徳ト謂フ。詞ヲ擇ンテ説キ。惡語ヲ道ハズ。時アリテ然ル後ニ言ヒ人ニ厭ハレズ。是チ婦言ト謂フ。曹大家女誡

○抑女子ノ失徳ニ由テ生スル所ノ弊害ハ。其緒一端ニシテ足ラズ。苟此大綱ナル守防節標一タビ弛縱スルハ。人心忽チ敗壞シテ復救フベカラズ。其禍害之ヨリ大ナルハナシ。萬法精理

○女ハ容よりも心の勝れたると善とすべし。心ば

へよまなき女ハ心騒ま^く。眼恐ろま^く見出ま^て人
 と怒り。言辭あら^ゝか^に。物言ひま^がなく口ま^ゝて。
 人に先だち。人を恨み嫉^み。我身に誇り。人を誇り笑
 ひ。われ人に勝り貌な^るハ。皆女の道に違^へるなり。
 女ハ惟和ら^き順ひて。貞心に情け深く静な^るとよ
 ま^とす。女大學

○男子ノ行事ハ。或ハ愛ヲ離レテ可ナル^トアリ。婦
 人ニ至リテハ。生涯ノ行事決シテ愛ノ一字ヲ離ル
 ベカラズ。貴女德斯^低爾^ル

小學修身訓上終

故

明治十三年十二月廿一日 翻刻御届
 明治十四年二月 出板

定價金六錢

翻刻人

愛媛縣平民

武市英俊

伊豫國伊豫郡
 上高柳村貳百
 三拾六番地

小學修身訓

波號

卷二

K110.1
134
2